

はまかせ

風が運ぶお知らせ便り♪

ワンランク上の病院をめざして

私たちは、患者さんの意思を尊重し、高度で良質な医療を提供することによって、地域社会に貢献します。



nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp

Message メッセージ

大腿骨近位部骨折再骨折予防サポートサービス (N-POP)

■概要、Q&A etc.

Information お知らせ

■EBISU♥キッチン

香辛料で減塩編 ～キャベツのカレーコールスロー～

■にしびょうTopics

地域医療連携からのお知らせ

■特集

「乳房再建」ー形成外科の役割ー、スタッフ紹介

■院長エッセイ「四季雑感」

新病院長 挨拶

■医療技術NOW!

CT装置の更新・アップグレードを行いました

■絵の中の風景を旅するvol.26

にしびょう美術館館蔵品を毎回紹介



大腿骨近位部骨折再骨折予防 サポートサービス(N-POP)

整形外科部長:正田 悦朗



大 腿骨近位部骨折は骨粗鬆症が進展する70歳以降で急激に増加し、疼痛のため起立歩行が困難となり、入院手術が必要となります。一度骨折を起こすと反対側の骨折を起こすリスクは通常の2倍以上になるといわれています。反対側の骨折を防ぐには骨粗鬆症に対する治療が不可欠となってきます。

し かし、以前の調査で骨折を起こした方に対して約20%しか骨粗鬆症の治療が行われていないという事が明らかとなりました。このような状況を改善するために骨粗鬆症リエゾンサービスという多職種連携による活動が行われるようになってきています。

当 院でも大腿骨近位部骨折再骨折予防サポートサービスを2019年1月15日から開始しました。このサービスはN-POP (Nishinomiya support service of Prevention for secondary Osteoporotic Proximal hip fracture) と呼んでいます。参加職種は、医師(整形外科医、腎臓内科医)、病棟・外来看護師、放射線技師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、地域医療室、臨床検査技師、医事企画課職員などです。多職種が連携する事で、

骨折の治療をスムーズに行い、次の骨折を防止する事が目的です。

手 術後は早期にリハビリテーションを開始し、放射線科でのDEXAによる骨密度測定、栄養管理課による栄養指導を行います。また、薬剤師からの骨粗鬆症薬の提言を受け主治医が投薬を開始します。この時には腎機能が悪い方が多く腎臓内科の先生と密に連絡をとっています。転院については、地域医療室が介入し転院先を決定していきます。病棟看護師や外来看護師(現在、骨粗鬆症マネージャーをめざしています)によるこれら手順のチェックが行われます。月に1回ミーティングを行い、運営上の問題点やその効果について検討しています。

こ のサービスを始めてから投薬率は20%から80%へと上昇しています。再骨折を予防する事は、本人の痛みや生活の障害を少なくするだけでなく、介護に当たる方の負担も減らす事ができます。今後は、大腿骨近位部骨折に限らず骨粗鬆症に基づく他の骨折にも広げていく事ができればと考えています。

整形外科について質問!
INTERVIEW



Q 大腿骨の骨折と診断された時に、このサービスを利用することはできますか？

A 当院では、大腿骨頸部、転子部骨折の患者さんを再骨折予防サポートサービス対象患者さんとして、介入しています。今後は、対象患者さんを拡大してまいります。

Q 県立西宮病院を退院した後はどうなりますか？

A 再骨折予防サポートサービスの対象患者さんには、「再骨折予防手帳」をお渡ししております。この手帳は、介入している医療チームからの説明内容が記入されているものです。入院後に、担当看護師から手帳について説明し、お渡ししています。必要事項はご自身での記載をお勧めします。退院後に、この手帳を活用しながら、治療が継続されるように、近隣の医療機関に連絡しております。将来的にはご自宅近くの、かかりつけ医での治療が継続できるように地域連携を進めてまいります。

(2号棟4階病棟 看護師長:福田 和美)

EBISUキッチン
香辛料で減塩編 BY.栄養管理部

塩分0gの「カレー粉」と、しょうゆやドレッシングに比べると塩分の少ない「マヨネーズ」を使ったサラダです。いつもの炒め物や煮物にもカレー粉を加えることで、美味しく減塩ができますよ。



カレー粉の量は
お好みで調整して
くださいね！



キャベツの
カレーコールスロー

●材料 (5人分)

キャベツ	150g
人参	35g
マヨネーズ	36g(大さじ3)
カレー粉	2g(小さじ1)
砂糖	3g(小さじ1)
酢	2.5g(小さじ1/2)

1人当たり栄養価

エネルギー	69kcal	炭水化物	3.4g
たんぱく質	0.5g	塩分	0.1g
脂質	6.1g		



- 作り方●
- ① キャベツ、人参は千切りにする。
 - ② マヨネーズにカレー粉、砂糖、酢を加えてよく混ぜる。
 - ③ ①に②をよくからめてできあがり♪

ワンポイントアドバイス

野菜の水分をしっかり絞ることで調味料が馴染みやすくなります。カレーマヨネーズが食欲増進！

サンドイッチに挟んだりアレンジもききます。

火を使わず手軽に作れますよ。

(調理師:内藤 真理)



「減塩＝薄味」と
思っていませんか？



薄味も大切ですが、毎日続けるのはストレスを感じてしまうのではないのでしょうか。その物足りなさを補ってくれるのが「香辛料」です。今回は、減塩方法のひとつである「香辛料」を使った簡単な野菜料理をご紹介します。当院の腎臓病教室でも好評です。



地域医療連携からのお知らせ

地域連携懇談会を下記日程にて開催いたします。

【テーマ：褥瘡について】

日程 7/11(木)17時~18時30分 / 11/14(木)17時~18時30分

是非、参加の程よろしく申し上げます。



「乳房再建」ー形成外科の役割ー

「形成外科」の仕事をひとことで言い表すのはとても難しいのですが、「目に見える場所の外科」と考えて頂ければ、わかりやすいかもしれません。日本ではまだまだ歴史の浅い、なじみの薄い診療科ではありますが、実はその対象範囲は非常に広く、多岐にわたっています。顔面外傷（顔面骨折を含む）、熱傷、眼瞼下垂、小耳症・耳介変形、唇裂・口蓋裂、手足や体表の先天異常、皮膚・皮下腫瘍、癬痕・ケロイド、褥瘡や足壊疽などの難治性潰瘍、各種再建、その他の整容的な問題など、身体のあらゆる部位のあらゆる病態を対象としております。

私たち形成外科医は、生命にかかわる重篤な病気にたずさわる機会はありません。そのかわり、病気やけがによって低下してしまった生活の質をふたたび向上させ、生きがい・幸福感を取りもどすお手伝いができるものと考えています。

その代表的な手術の一つが、「乳房再建」です。

日本では乳がんが年々増加していて、女性の11人に1人は乳がんになる、とも言われています（国立がん研究センターによる統計）。手術を受ければ大なり小なり、乳房の本来のかたちは損なわれてしまいます。内臓のがんとは違い、はっきりと目に見える形で、そのダメージを大きく感じてしまう患者さんが多いのではないのでしょうか。

最近では健康保険を用いて、インプラントや自家組織（自分のからだの組織）による乳房再建手術を受けられるようになっていきます。乳がんの切除手術と同時に再建を行う（一次再建）だけでなく、以前に乳がん手術を受けられた患者さんが後から再建手術を受ける（二次再建）ことも可能です。

当院では乳腺外科と形成外科が協力し、患者さんの状態と希望に合わせて、適切な乳房再建の方法を提案することが可能です。乳房再建にご興味を持たれた方は、どうぞ遠慮なく主治医の先生や形成外科医にご相談ください。

（形成外科：佐藤 誠）

形成外科 スタッフ紹介



- 佐藤 誠 医師(中央)
- 倉本康世 医師(左)
- 榎本 格 医師(右)

四季雑感



西 宮の皆様、初めまして。この度、河田純男前院長の後任として4月1日付けで兵庫県立西宮病院の院長を拝命しました野口眞三郎と申します。今後は、地域医療・高度医療の更なる推進、並びに本院の発展に全力で取り組む所存ですので、ご支援の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。

最初に私の経歴をごく簡単に紹介させていただきます。私は、昭和30年の大阪生まれで、昭和55年に大阪大学医学部を卒業し、以後、大阪府立成人病センター外科（現在の大阪国際がんセンター）（1980～1982年）と箕面市立病院外科（1982～1983年）に勤務し外科研修を受けた後、大阪大学医学部第2病理で乳癌の基礎研究に従事しました（1983～1985年）。その後、大阪府立成人病センター第3外科に勤務し、以後は乳腺外科を専門として乳癌の診療と研究に従事しました。1989年～1990年の間は米国国立衛生研究所（National Institutes of Health）に留学し、その後、1998年に大阪大学医学部腫瘍外科（現在の乳腺内分泌外科）の教授に選任され、今年の3月末まで21年間教授を務めました。

定年まではまだ2年ほど残していましたが、この度、縁あって兵庫県立西宮病院の病院長を拜命することになりました。私は、卒業後一貫して大阪の病院に勤務しておりましたので、他府県の病院に勤務するのはこれが最初です。芦屋市と西宮市のどちらが大阪に近いのかさえ知らない人間でしたので、新しい勤務地、新しい業務でまだまだ戸惑ってはいますが、赴任して約1月が経過し多くの病院のスタッフや県の病院局の方々に接し、また、兵庫県における県立病院の運営・活動状況を知るにつれ、大阪では感じなかった未来の医療へ進むモチベーションを感じるようになりました。いくつかの県立病院の統合が既に完了し、間もなく統合が完了する病院、そして、本院のように西宮市立中央病院との統合計画が今年スタートする病院と色々な段階はあるにせよ、兵庫県の県立病院は未来を見据えた医療政策の元に全体が旨く調和しながら前に進んでいるように感じられます。今、医療は激変の時期を迎えようとしています。がんのゲノム医療、ロボット支援・遠隔手術、再生医療、そして、医療へのAIの導入等、これらの高度な医療を安心・安全に県民の皆様へ提供するためには、県立病院の統合による機能強化は不可欠の政策と思われま

す。この重要な時期に、本院の舵取りを担うのは極めて重責ではありますが、過去の経験を活かし、また、多くの関係者の英知を集結して、オープンが待ち遠しくなるような夢のある病院を開設すべく全力で取り組みたいと思っています。今後とも引き続きご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

兵庫県立西宮病院 院長
野口 眞三郎



医療技術 NOW!

西宮病院の「今」がわかる。

【CT装置の更新・アップグレードを行いました】

日々高度化し進歩する医療に対応すべく、当院では平成30年末に救急・放射線治療用CTをGE社製Revolution CT HDに更新しました。また既設診断用CT（GE社製 Discovery 750HD-A）のアップグレードを行い、当院のCTは2台共に最新機種として運用を開始しました。

CT装置は2台とも64列CTで、検出器にX線変換効率に優れた人工ガリウムを使用。1回転のデータ収集量が増加し、高分解能な撮影を行う事が可能です。また、逐次近似法を利用したノイズ低減により大幅にX線量を減らして撮影することが出来ます。また、Dual Energyに対応しており造影剤低減など患者様の安全性の向上が期待できます。

金属アーチファクト低減処理（MAR）機能もあらたに搭載されました。これにより従来人工関節等により観察困難であった部位も診断が可能となりました。寝台も大幅に長くなり、全身の検査を1回で撮影できるようになりました。

（放射線部 小池 克弥）



絵の中の風景を / 旅する vol.26

<http://www.nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp/>

当院外来ロビーや各病棟には、地域の方々や入院患者さん、そのご家族などからのご寄付による200点以上にのぼる絵画が飾られています。”にしびょう美術館”の貴重な”館贈品”は、当院ホームページ内の「にしびょうWebミュージアム」でも常設展示していますが、これらの作品の中から、毎回、ちょっと気になる1作品をとり上げてご紹介いたします。と一緒に、絵の中の風景を旅してみませんか。



満開の桜が咲き誇る夙川公園です。暖かな日差しを浴びてベンチでくつろぐ人たちがやえさをついばむ鳩たちが描かれ、穏やかな春の訪れを感じる一枚です。

夙川公園は、昭和12年に夙川沿いに整備され、今は桜の名所としてJRの駅名にもなっていますが、桜が植樹されたのは昭和24年になってからだそうです。

現在は日本のさくらの名所100選にも選ばれ、4月に開催される西宮市さくら祭には多くの花見客で賑わっていますので、皆さんの中にも訪れた方が多くおられるのではないのでしょうか。桜のシーズン以外にも、周辺に住む方々には絶好の散策コースとしても人気があるようですので、まだ訪れたことのない方は、この絵の風景を一度探しに行ってみてはどうですか。

(総務部:角田 順子)

編集後記

編集室



H31年度4月に西宮病院に赴任して参りました看護部の藤原功己です。「平成」の時代から「令和」に移り変わる今年は大きな節目を迎える年になります。令和元年は心新たに地域の皆さまの健康をお守りできますよう、より一層励んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

(看護部次長:藤原 功己)

H A M A K A Z E

2019
Vol.26

兵庫県立西宮病院

〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町13番9号
TEL:0798-34-5151(代表) FAX:0798-23-4594

地域医療連携センター FAX:0798-34-4436
E-mail:chiiki-kn@hp.pref.hyogo.jp

nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp

2019.6 発行